

2024 年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 氏 名 大味 奈夕夏

台湾研修概要

8 月 25 日から 8 月 31 日までの 7 日間、学内研修としてユンペイ大学で中国語講座を受け、学外研修では台湾の病院を見学し、また、九份や台北 101 を始めとした多くの観光地を訪れました。

本研修に参加した目的と目標

私が研修に参加した目的は、自分の視野を広げるためです。私は英語に苦手意識があるため、海外に行くことに抵抗感がありましたが、今回の台湾研修は、異文化に触れるなどの様々な経験が出来る良い機会だと感じました。本研修での目標は、積極的に台湾のボランティアの方々とコミュニケーションを取るということでした。苦手意識があり緊張はしましたが、積極的にコミュニケーションを取る事を意識しました。

学内研修で学んだこと

学内研修では歴史館を見学し、ユンペイ大学の放射線科にある機械等を拝見しました。本学校にはない歴史館というものがあるということに驚きました。日本の放射線の歴史だけしか知りませんでしたが、台湾の放射線の歴史やユンペイ大学の歴史を学ぶことが出来ました。また、ユンペイ大学にある MRI の見学の際には台湾のお菓子が置かれており、台湾の文化にも触れることが出来ました。他にも学内研修では、中国語講座でボランティアの方々にマンツーマンで中国語を教えて頂いたり、英語や日本語などでコミュニケーションを取ったりしました。ボランティアの方に教えて頂くことで、自分からも進んで質問したりすることが出来、より詳しく学ぶことが出来ました。初めて中国語を学んだり、1 つの教室で和気あいあいと交流出来たことで、台湾での手遊びなど台湾の文化についても触れることが出来ました。このように実際に台湾の方々と近い距離で多く交流出来たことにより、私の海外の文化などの視野が広がりました。

学外研修で学んだこと

学外研修では台湾の病院のシステムなどを見学させて頂きました。海外の病院のシステムについて説明していただくという貴重な経験が出来ました。日本であまり見た事無い自動会計などがあり、日本でも自動会計を取り入れることで効率が良くなっていくのではないかと考えました。

観光&交流

観光では台湾で有名な九份や台北 101 を始めとした多くの観光地を訪れました。日本にはない台湾の街並みを見ることが出来、とても感動しました。また、台湾のボランティアの方々が私たちに対しフレンドリーに、親切に台湾のことを教えてくださり、本当に素晴らしい交流が出来ました。言葉の壁もあるため、とても緊張していましたが、食堂で日本と台湾それぞれの手遊びなどを通して深く関わることも出来ました。懸命にコミュニケーションを取って頂けて、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。

まとめ

海外研修を通して、多くの方と交流し、台湾の文化や街並みに触れ、台湾はこんなにも素晴らしい所なのだと感じる事が出来ました。初めのうちは緊張もあり、なかなか上手くコミュニケーションを取ることが出来ませんでした。台湾のボランティアの方々がフレンドリーに接してくれたことで、日数が経つにつれて、自分から積極的に話に行くことが出来ました。私は英語が苦手で、海外へ行くことに抵抗感がありました。しかし、実際に行ってみて、海外の方と楽しく交流し、多くの観光地を回ることが出来、本当に充実した1週間を過ごすことが出来ました。常に笑顔でいられるほど楽しく、心から研修に参加して良かったと感じました。

謝辞

1週間の海外研修本当にありがとうございました。京都医療科学大学の先生方を始め、ユンペイ大学のボランティアの方々、ユンペイ大学の多くの先生方、見学させて頂いた病院の関係者の方々、その他協力して下さった方々、本当に多くの方に支えられ素晴らしい1週間を過ごすことが出来ました。個人の旅行だけでは出来なかった多くの経験を、皆様のおかげで経験することが出来ました。本当に素晴らしい時間をありがとうございました。



【食堂での交流の様子】



【ユンペイ大学の歴史館を見学する様子】



【新竹國泰綜合醫院の自動会計】



【九份での観光の様子】



【台北 101 を観光している様子】

